

【プログラム名】

## ◎子どもは親の鏡

家庭教育支援ガイドブック「見てますよ 聞いてますよ」

### 1 プログラムの準備等

○実施時期：いつでも

○実施時間：約50分間（説明5分、プログラム45分）

○対象：児童期（小学校中学年～高学年）の子どもの保護者

○準備物、配布物

【配布物】※ファシリテーターの指示で配布

- ・家庭教育支援ガイドブック「見てますよ 聞いてますよ」
- ・家庭教育支援プログラムワークシート
- ・A4用紙

【備品】

- ・ホワイトボード等

○その他（座席など）

- ・特に指定なし



2 展開 (15:00~15:50 に実施の場合)

時間	プログラムの内容	ポイント 等
15:00~ (5分)	○開会 ・ファシリテーターあいさつ、自己紹介 ・今日の講座の趣旨と流れの説明	・ファシリテーター2名(進行役と板書/配布係) ・環境が子どもに与える影響 ・親も言葉も「環境」のひとつ
15:05~ (5分)	○アイスブレイク 【参加者同士で自己紹介】 (やり方) ①2人一組で、順番に自己紹介をする。1人2分×2 ②(内容)自身の名前 / 子どもの紹介 / 子どものかかわりの中で、がんばっていること	・隣同士でペアになる。 ・自身ががんばっていることに注目する。褒め所を探す。
15:10~ (5分)	○グループワーク「気楽におしゃべりしましょう」 【Work①「どんな子どもに育ててほしいですか?」】 (やり方) ①2人一組で話す。 5分	・A4用紙配布。Work①を口頭で伝え記入してもらう。 ・「できている、できていない」「その名の無理」などは問わない。 ・2人一組:ファシリテーターが指示
15:15~ (15分)  *予備時間含む	【Work②「こんなことやっていませんか?」】 (やり方) ①個人作業:ワークシートのWork②を黙読する。 1分 ②グループ内で共有 8分 ③発表、全体共有 4分	・家庭教育支援プログラムワークシート配布 ・「こんなことやっていませんか?あるある」の確認 ・他の「あるある」2~3人に聞く。

<p>15:30～ (15分)</p>	<p>○家庭教育支援ガイドブック「見てますよ 聞いてますよ」を配布。</p> <p>○グループワーク 【Work③（親としての願い、希望があるが）親として心がけたい事を考える】 ※「Work① どんな子どもに育ててほしいですか？」を使用。 (やり方) ①Work①の内容をグループ内で共有 8分 ②個人作業：Work③をワークシートに記入 2分 ③グループ内で共有 5分</p>	<p>・では、どうすればいいのかを考える。</p>
<p>15:45～ (5分)</p>	<p>○まとめ</p>	
<p>15:50</p>	<p>○閉会</p>	

## ◎子どもは親の鏡

家庭教育支援ガイドブック「見てますよ 聞いてますよ」

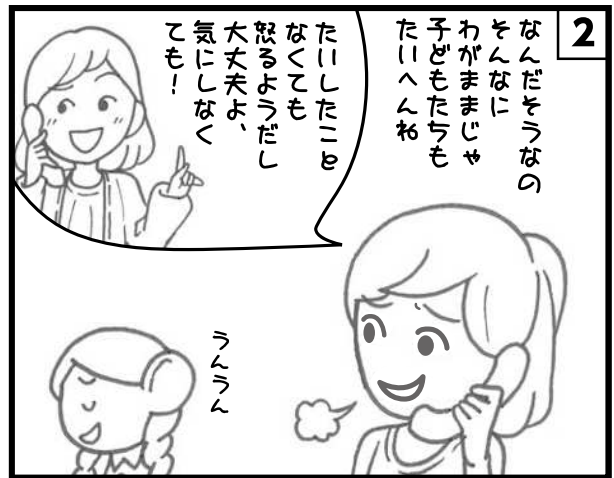
Work①「どんな子どもに育ててほしいですか？」

Work②「こんなこと、ついやっていませんか？」

- a 子どもに「交通ルールを守りなさい」と叱りつつ、横断歩道が無いところで渡る。
- b 「約束を守りなさい」と言いつつ、つい、子どもとの約束を破ってしまう。
- c 「授業に集中して、おしゃべりしない」と子どもに叱りつつ、授業参観のときには後ろでママ友と私語をしたり、ついLINEを見てしまう。
- d 「好き嫌いしないで食べなさい」と子どもに言いながら、自分が苦手なおかずを残す。
- e 「食事中、よそ見をしない!」と子どもに言いつつ、スマホをみたり、いじったりする。
- f 「人の悪口は言わない!」と言いつつ、職場の人の悪口を言ってしまう。
- g 「感謝する心を育てたい」と言いつつ、子どもや夫がやってくれていることに対して「ありがとう」と返すことを忘れてしまっている。

Work③ (Work①に近づくため)「親として心がけたいことは何ですか？」

# 見てますよ 聞いてますよ



## 子どもは親の鏡

上記の例のように親が友だちを悪く言えば、子どもも友だちのことを悪く言うことを当然に感じてしまうことは少なくありません。それは友だちだけでなく、先生や近所の人でも同じです。

日頃から、人のよいところを見つけて、認めるプラスの言葉を使うように親が心がける事で、子どもも自然と人のよいところを見つけられるようになります。そして人との友好的な関係を築く力を育むことにもつながるでしょう。

## 子どもの前では、人のことを批判する言葉は慎みましょう